

必修例題 5 差集め算

- (1) 1本80円の鉛筆を何本か買う予定でお金を用意しましたが、1本50円の鉛筆しかなかったので、予定より5本多く買って20円あまりました。このとき、用意したお金は何円ですか。
- (2) 80円切手と150円切手をそれぞれ何枚か買って、代金は2550円になる予定でしたが、買う枚数を逆にしてしまったため、代金は2970円になりました。150円切手を何枚買いましたか。

[予習コースの別冊です。]

(1) $1本の値段 \times 本数 = 代金$

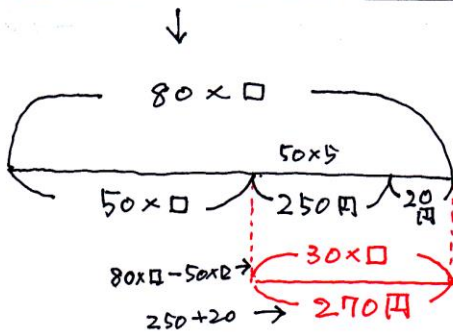
用意した(持っていた)お金は決まっているので

この長さを決めた線分図をかきます。

50円の鉛筆5本分の金額は

$$50 \times 5 = 250 \text{ (円)}$$

80円の鉛筆を何本買う予定だった



図より

$$30 \times \square = 270$$

$$\square = 9 \text{ (本)} \dots \text{予定の本数}$$

したがって、用意したお金は

$$80 \times 9 = 720 \text{ (円)}$$

720円

(2) 逆にして買ったら高くなった。



実際には高い方(150円)をより多く買った。

$$2970 - 2550 = 420 \text{ (円)}$$

$$420 \div (150 - 80) = 6 \text{ (枚)} \dots \text{枚数の差}$$

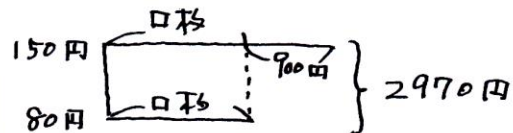


150円の方を6枚多く買った。

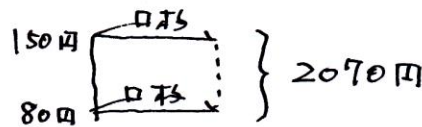


この金額は

$$150 \times 6 = 900 \text{ (円)}$$



$$2970 - 900 = 2070 \text{ (円)}$$



$$2070 \div (150 + 80) = 9 \text{ (枚)}$$

…80円切手の枚数

したがって、150円切手の枚数は

$$9 + 6 = 15 \text{ (枚)}$$

15枚